申請書記入例・記入要領

□ の中はすべて記入してください。

（表）

別記様式第一　　（整理番号　令和　　年　　号）

被害回復給付金支給申請書

松江地方検察庁　検察官　殿　　令和　〇　年　〇〇　月　〇〇　日

申　請　人　氏名又は名称（フリガナ）ケン　サツ　タ　ロウ　検　察　太　郎　㊞
生　年　月　日　昭和又は平成　〇〇　年　〇〇　月　〇〇　日（　〇〇　歳）
住　所（〒〇〇〇－〇〇〇〇）
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号
（電話番号又はメールアドレス　〇〇〇　－　〇〇〇　－　〇〇〇）

代表者又は管理人　氏名（フリガナ）
生　年　月　日　　年　　月　　日（　　歳）
住　所（〒　－　）
（電話番号又はメールアドレス　　－　　）

代理人（法定代理人又は弁護士）　氏名又は名称（フリガナ）　㊞
生　年　月　日　　年　　月　　日（　　歳）
住　所（所在地）（〒　－　）
（電話番号又はメールアドレス　　－　　）

次のとおり被害回復給付金の支給を申請します。

被害者	被害にあった者は	☑ 申請人（被害者欄の下記事項についての記入は不要です。） □ その他の者（被害者欄の下記事項につき記入してください。）
	氏名又は名称（フリガナ） 生年月日	年　月　日（　歳）
	住所	（〒　－　）
一般承継人	一般承継の理由及びその年月日	令和　年　月　日 により承継した。
	被害者との関係	
支給手続番号		松江地方検察庁　令和５年第　３　号
被害にあわれた年月日時		別紙のとおり
被害にあわれた場所		別紙のとおり
犯人の名前又は団体名		別紙のとおり

法人又は団体の場合、その名称、住所、電話番号を記入し、社判・団体印を押印してください。

申請人が法人又は団体の場合に代表者又は管理人の氏名・住所等を記入してください。

代理人が弁護士であるときは、その氏名、事務所の名称・所在地のほか、氏名欄に「登録番号」も記入し

どちらかに必ず✓してください。

申請書作成日を記入。

〇申請人記入欄

被害に遭った本人・法人・団体又はその一般承継人が記入(自署)・押印してください。
※「一般承継人」とは、被害者本人から、その財産などを相続された方などのことを言います。
★添付書類必要
「添付書類確認シート」
①を確認してください。

〇代理人記入欄

被害者が未成年の場合などに、その親＝法定代理人が手続を代理することもできます。
また、代理人を弁護士に委任することもできます(弁護士費用はご負担ください)。

⇩申請される方が

※「被害者本人」の場合
「申請人」に✓
※「一般承継人」の場合
「その他の者」に✓

一般承継人の方のみ記入してください。
「平成〇年〇月〇日　検察二郎の死亡に伴う相続により承継した。」

〇被害状況記入欄

被害状況を詳細に記入していただく必要があるため、被害状況を同封の「被害状況別紙」に記入し、この申請書とともに提出してください。

裏面へ続きます

申請期限　令和６年３月２２日

（裏）

被害にあわれた状況	別紙のとおり			
支給を受けようとする金額	犯罪行為により失われた財産の価額	○○○，○○○　円 （価額算定の根拠）		
	控除対象合計額	0　円		
	（内　訳）			
	てん補又は賠償を受けた年月日	てん補又は賠償をした者の氏名又は名称（犯人との関係）	てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称（被害者等との関係）	てん補又は賠償額
	令和　年　月　日	（　　）	（　　）	円
	令和　年　月　日	（　　）	（　　）	円

支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についての合意の有無及びその内容	□　合意はない　　□　以下の合意がある	
	施行規則第８条第１項第８号に定める他の申請人等の氏名又は名称及び住所等	フリガナ 氏名又は名称 住所（〒　－　） 電話番号又はファクシミリの番号　－　－
	合意の内容	
払渡しを受ける機関その他のその払渡しを受けるために必要な事項	預（貯）金口座 口座名義人 フリガナ	ケンサツ　タロウ
	氏名（法人の名称）	検　察　太　郎
	住(居)所等	○○県○○市○○区○○町○丁目○番○号
	金融機関	○　○　銀行・信用金庫・信用組合・信用協同組合　△　△　本店（所）・支店（所）・出張所
	預金種別	1．普通預金　2．当座預金
	口座番号	1　2　3　4　5　6　7
	郵便局	通帳記号　　通帳番号
	その他の必要な事項	

（注意）　□印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

○犯罪行為により失われた財産の価額記入欄

「被害状況別紙」で算出した「支払金額」の合計額を記入してください。

★添付書類必要
「添付書類確認シート」②を確認してください。

○てん補又は賠償関係記入欄

犯人又はその弁護人などから、被害額のてん補又は賠償を受けていない場合は「控除対象合計額」欄に「0」と記入してください。

被害額のてん補又は賠償がされた場合は内訳を記入し「控除対象合計額」欄にその合計額を記入してください。

★添付書類必要
「添付書類確認シート」③を確認してくだ

※「てん補又は賠償」とは、犯人側から被害者側に対し、損害補填・示談・賠償金などの名目で支払われた金銭のことです。

○給付金額の割合に関する合意の有無

ほかの被害者（申請人）との間で、給付金の支給を受けることとなった場合の支給割合について、何も合意をしていない場合は「合意はない」に✓してください。その場合、次欄は記入不要です。

何らかの合意がある場合のみ「以下の合意がある」に✓し、その内容を次欄に記入してください。

★添付書類必要
「添付書類確認シート」④を確認してください。

○被害回復給付金の振込先口座記入欄

この口座は、申請人本人名義のものに限ります。記入した口座の通帳又はキャッシュカードの写しが必要です。

★添付書類必要
「添付書類確認シート」⑤を確認してください。

口座が開設できないなど、やむを得ない事情がある場合に記入する欄です。

申請書は、記入例をよくお読みの上ご記入し、被害状況別紙とともに、必要な書類を添付して申請してください。

添付書類については、同封の「添付書類確認シート」で必ずご確認願います。

注意　申請書又は添付書類に虚偽の記載をして提出した者は、５０万円以下の罰金に処することとされています。